

“自分らしさ”をテーマに表現する

第 4 回アートコンテスト 受賞 33 作品を発表！

三菱鉛筆株式会社(本社:東京都品川区 社長:数原滋彦)はオフィシャルパートナー契約を締結している一般社団法人 障がい者自立推進機構(所在地:東京都港区 代表理事:松永昭弘 以下、パラリンアート)と第 4 回アートコンテストを開催いたしました。「生まれながらにすべての人がユニークである」という当社の信念に基づき、一人ひとりが持つさまざまな違い、つまり「自分らしさ」をテーマに自由に表現いただいたアートコンテストの結果をご報告いたします。

◆アートコンテストのテーマ

「自分らしさ」を描く

あなたが想う自分自身の「自分らしさ」をアートで表現してください。

◆応募件数 149 作品

◆審査方法

パラリンアート事務局の運営する専用サイトに掲載いただいた作品を三菱鉛筆グループ社員で審査しました。審査内容は「自分らしさを表現した応募作品」と「なぜこのような表現になったのかという説明文」の 2 項目を合わせた総合評価としております。

【結果発表】

◆最優秀賞(1 作品)



田尻はじめさん作

「ダンディー酒井」

○作品に対する想い

人生なかなか思う通りには行
きません。

苦しく辛いこともたくさんありま
した。

けれど絵の中だけは自分の思
った通りになります。

自分をスマートにかっこよくだっ
てかけるのです。

自分の人生を振り返り悪くない
人生だと思いながら外を眺め
ている。

そんな自分を描きました。

いつかそんなことを思える日が
来るようにこれからも絵を描き
続けたいと思います。

◆優秀賞(2 作品)



Anemo さん作 「月夜とすすき」

○作品に対する想い

私の障害の一つが、睡眠・覚醒相後退障害という朝起きられない病気です。物心ついた時から、社会生活を送るのに大変な苦勞をしてきました。みんなが寝静まった夜に活動し、私は夜が友だち。夜の美しさをよく知っています。これこそ、“自分らしさ”だと思い、真っ暗な夜に浮かぶ満月を描きました。

すすきの葉は描くのやや苦勞しましたが、発達障害も併せ持つ私の心の中も恐らくこんなふうに複雑ではないかと…これも自分らしさかと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。



レイさん作 「自分らしさ」

○作品に対する想い

この作品は上下をさかさまにしても楽しむことができます。

自分らしさと聞いて最初に「狼」の絵を描いたが、納得がいなくてテレビを見ていたら「冒険」と言う言葉を聞いた。そして自分らしさとは「波」だなど閃いた。そして「海」の絵を描いた。すごく納得した。

絵の中の山は、たまに出てくる目の前に現れる壁を表しました。逆さにすると夜の空と風の海になります。

自分らしさの「波」とは、波が暴れている時は僕の心も暴れる、風の時は僕の心も風。

波は自由で心も自由。波に落ち着いてと言いつ聞かせ、今日も前へ進む。

◆POSCA 賞(5 作品)



yuiko さん作 「自分色」

○作品に対する想い

私はオニオオハシが大好きです。

このオニオオハシはとてもカラフル。

オニオオハシを見た時に思い浮かべる色、感じる色、表現する色は人それぞれ違うと思います。

私みたいにカラフルに描く人や、青や赤、黄色、白黒に感じて描く人もいるかもしれません。

一人一人が感じる色、見える色や描く色が違うように一人一人性格や感じ方、表現する方法も違います。

でもそれをお互いが尊重して生きていけたらいいなと思います。

それがそれぞれの人の自分らしさにつながると思います。

このオニオオハシは私から感じ描くカラフルで自分らしい作品になったと思います。

このオニオオハシは笑ってるように見えます。

私もこのオニオオハシのように自分らしくこれからも笑顔で過ごしていきたいです。

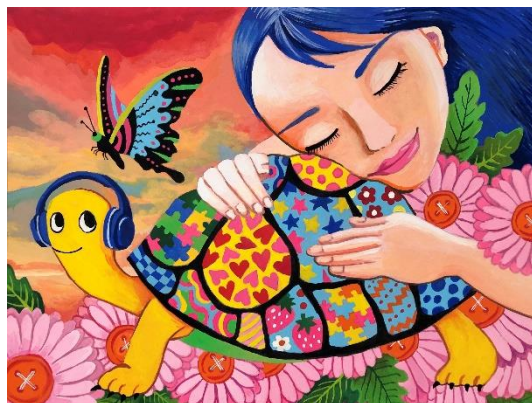
オニオオハシが大好きで植物が好き、カラフルな絵を描くことが好き、絵を描くことは生きること。それが私の考える自分らしさです。



カミジョウミカさん作 「自分らしさはこれだ」

○作品に対する想い

この作品は背景にポスカでカラフルに塗り、黒ペンで自分らしさを表したオリジナルキャラクター（動物風・人間風）を描きました。自分は絵を描き始めた頃からオリジナルキャラクターを制作し、描いていました。自分らしさ＝オリジナルキャラクターなのでこの作品になりました。



いちごさん作 「ゆっくり進む」

○作品に対する想い

私にとって、自分らしさとは、「色々なことが遅くて、完璧主義」だと思いました。

それは、自分を苦しめることでもあるし、絵を描く時などには、自分の助けとなる個性だと思いました。

遅い自分をカメで表現し、そんなカメに「ありがとう」と寄り添っている女性を描きました。

そして、遅い自分を、一日の終わりがけの夕暮れで表現しました。

完璧主義なところは、達成感の得られるパズルで表現しました。

おしゃれが好きなので、花にボタンをつけました。



tomoko さん作 「一番好きな絵を描いてごらん」

○作品に対する想い

絵は、自分が楽しい、好き、と思いながら描くのが一番だと思います。わたしは小さい頃、否定されるのが怖くて絵を描くのは嫌でした。わたしのようになんか縮こまってしまう誰かがいないように、と思いを込めて描きました。



Emilie さん作 「あしあと」

○作品に対する想い

私のあしあと。物心つくころには絵に触れていました。今の私になるまで、絵について、学んで、考えて、オリジナルを探して、教えて、遊んで、楽しんで、ぐちゃぐちゃの気持ちにもなって、離れて、それでも今は始めたときと同じ気持ちになれている気がする。だから私の絵は幸せに満ちた始まりの笑顔に溢れています。それでもまだまだ、描き足りない。この笑顔が続くように、私は絵と触れあっていく。

◆EMOTT 賞(5 作品)

Ray さん作「円居せん」

ゆき坊さん作「～小さな幸せ～『僕はきみに会いたかったんだよっ!!』」

たわちゃんさん作「青の世界」

マータンさん作「私の感情」

やっけんさん作「僕の頭の中の世界」

◆uni 賞(20 作品)

情報資格試験さん作「私の中にある確たる無意識による主張」

torayu さん作「喰らう」

yoshi さん作「水の戯れ」

たろすけさん作「日常」

323 ちこたんさん作「銀杏」

yukari さん作「イルカの背中で響きあう宝石たち」

工房はんど あんずさん作「一緒にいいね」

tontonkikaku さん作「日常の風景」

長谷部航輝さん作「レインボーZOO」

ニシオカオリさん作「一剪(いっせん)の先に、わたしがいた」

キクチユミさん作「薔薇とワイン」

菜さん作「色彩の狼」

ひーくんの美術館さん作「明日に向かって」

田中敦子さん作「ゆらゆら」

長岡花恋さん作「くじらのさんぽ」

NAMY さん作「自分らしさで描く世界」

R&B さん作「みんなが生き生き」

banri さん作「ふたつの心と生きる」

優花さん作「わたしだけの花」

Darioriri さん作「花開くわたし」

作品の詳細は、パラリンアート公式サイトよりご確認いただけます。

作品に対する想いは、作者ご本人のコメントを原文のまま掲載させていただいております。

◆イベント URL

<https://paralymart.or.jp/archives/22462>

【パラリンアートについて】

障がい者のアート作品を企業・個人に提供し、作者報酬をお支払いする障がい者自立推進機構の活動です。社会参加できず、経済的にも苦しんでいる障がい者のサポートを主な目的とし、アートを通じた障がい者の社会参加と経済的自立を推進しています。アーティストの登録は無料となっており、2025 年 6 月現在で約 400 名の方にご登録いただいております。

パラリンアートは、障がい者の自立支援を推進するだけではなく、彼らが才能を発揮し、挑戦する場所を生み出し続けています。



■ パラリンアートの取り組み



パラリンアートの強みは、すでにスペシャルサポーターとして数多くのスポーツ選手や著名人にも賛同いただいているほか、プライム市場上場企業から中小企業まで、約 370 のパートナー企業にて当取り組みが採用されている点です。パートナー企業は当取り組みを採用していただくことで、アートを飾るだけでなく、商品企画やイベント開催など、IR、PR、マーケティングにも活用することができます。今後は、当事業を通して企業のブランド価値向上や売り上げ増加等に貢献していくことで、持続的な「障がい者の積極的な社会参加、経済的自立」や「社会全体の SDGs 推進」の仕組みの構築を目指します。



◆ホームページ: <https://paralymart.or.jp/association/>

〈報道関係 お問い合わせ先〉

三菱鉛筆株式会社 経営企画部 広報グループ 深沢、加賀美

TEL 03-3458-6222/FAX 03-3458-6217